

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する、大腸 CT（CT Colonography）検査の対応・留意点について

今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して、国・厚生労働省や各自治体より感染拡大防止の取組が要請されています。また、地域によっては緊急事態宣言も出されており、情勢に基づいた対応が求められています。以下に、大腸 CT 検査における対応・留意点につきまして日本消化管 Virtual Reality 学会より提言いたします。

なお、本内容は本学会が示した目安です。地域、施設の状況に応じて施設ごとに協議し方針を決定してください。

また、情勢は日毎に変わっています。内閣官房、厚生労働省発表には十分注意してください。

内閣官房 新型コロナウイルス感染対策 (<https://corona.go.jp/>)

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html))

#### 1：COVID-19 の感染経路について

2019 新型コロナウイルスの主な感染経路は飛沫感染および接触感染が基本です。消化器診療においては、消化器病学会 (<http://www.jsge.or.jp/news/archives/287>)、消化器内視鏡学会 (<https://www.jges.net/medical/covid-19-proposal>) より提言が出されています。消化器診療では、特に上部消化管内視鏡検査で患者の咳嗽を誘発する可能性があり、エアロゾルによる医療従事者への感染が危惧されます。また、糞便からのウイルス排出の可能性も指摘されており [1]、[2]、下部消化管検査においても潜在的な感染リスクがあります。

#### 2：大腸 CT（CT Colonography）検査実施について

大腸 CT 検査は健診・人間ドックでの実施、あるいは保険適応検査として「他の検査で大腸悪性腫瘍が疑われる患者に対して実施」され検診二次検査が主体と考えられます。この大腸 CT 検査の実施主体を鑑みますと、**新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域およびハイリスク患者については検査の延期を検討ください。**

<ハイリスク患者>

- 感冒症状や 37.5°C以上の発熱。
- 2 週間以内の新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者との濃厚接触歴。
- 2 週間以内の感染多発地域への渡航歴。
- 持続する強い倦怠感や息苦しさ。
- 明らかな誘因のない味覚・嗅覚異常。
- 明らかな誘因なく 4 - 5 日続く下痢等の消化器症状。

### 3：大腸 CT（CT Colonography）検査実施時の防護策について

大腸 CT 検査実施時にはスタンダードプリコーションを施行してください。さらに、飛沫予防策と接触予防策をスタンダードプリコーションに追加して行うことを推奨します。フェースシールド付きマスク（またはゴーグル+マスク）・手袋・キャップ・ガウン（長袖）の着用が推奨されます。カテーテル挿入時・抜去時の便汁の飛散に十分注意を払い、検査終了後は CT 装置（特に寝台）と付属品の消毒を患者ごとに行うことが必要です。使用後のカテーテルおよび検査用パンツ等は汚染性廃棄物として厳重に処理してください。大腸 CT 検査の前処置を院内で実施する際には、受診者が使用したトイレ等もアルコールや抗ウイルス作用のある消毒剤による清拭を行ってください。なお、排泄物を処理する場合には個人防護具の着用が推奨されます。

今回記しました内容については、政府からの情報更新・要請ならびに社会情勢等に伴い改訂される可能性があります。

令和 2 年 4 月 13 日

日本消化管 Virtual Reality 学会

#### 参考文献

- [1] Gu J, Han B, Wang J. COVID-19: Gastrointestinal manifestations and potential fecal-oral transmission. *Gastroenterology*. 2020 [Epub ahead of print]
- [2] Wong SH, Lui RN, Sung JJ. Covid-19 and the Digestive System. *J Gastroenterol Hepatol*. 2020 [Epub ahead of print]